## 調査に関する事前評価済(R4実施)

重力式擁壁工 H=4.0m~5.0m L=146.0m S52施工

## 令和5年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

1. 事業診	きょう								(区分) 国補	<ul><li>県単</li></ul>	
事業名	急傾斜地崩壊対策事業[急傾斜地崩壊対策事業(国補)]	事業箇所	都留市つる二丁目		地区名	横町(ヨ	コマチ)		事業主体	山梨県	
①課題・背景 横町地区 月4日には	(1)事業の概要 ①課題・背景 横町地区は山梨県東部の都留市つる二丁目に位置する急傾斜地であり、平成23年8 月4日には土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高70m、平均勾配35度の急傾斜地で、保全対象には人家8										
戸、ひまわり幼稚園(要配慮者利用施設)があり、当該斜面が崩壊した場合、人名に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。					思傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当						
@##C#	<b></b>					0 <i>T</i> T T	T	T DC D45	0		
<b>②整備目標・</b>				総事業		0 百万円	工期	R6~R15	基準年	R5	
□土娄目標	□主要目標 ○崖崩れ被害の防止  ・災害実績:無 ・保全人家戸数:人家8戸、要配慮者利用施設1戸 換算後合計72戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無:有(市道(避難路)) (保全対象=人家8戸、ひまわり幼稚園(要配慮者利用施設 換算64 戸)、市道 L=170m)				用 建設費		百万円	● 便益 ● 一般資産被害		5 百万円 5 百万円	
					建议算	243	百万円	公共土木施設等		3 百万円	
								人的被害		1 百万円 1 百万円	
								その他※		3 百万円	
					B/C			<u>, ,                                  </u>		17.2	
※評価基準値					※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失)						
□副次目標 一					費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている						
□副次効果  一									·		
(2)整備内容					施・規模の妥	— <del>-</del>			0		
①整備内容 崩壊土砂防止柵工 H=4.0m L=95m				地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。							
②着手年度	令和6年度 <b>②完成見込年度</b> 令和15年度				⑤整備手法の有効性 地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。						
④総事業費	約300百万円								-		
(国費:143百万円(4.75/10)、県費:143百万円(4.75/10)、その他:15百万円(0.5/10))					◎環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。						
⑤年度別の整備内容 (事業費)											
令和6年度		20	百万円	⑦事業計					0		
令和7年度			百万円	地元要			がら受益	者負担金の同意は			
令和8年度			百万円	<u> </u>		合評 価			[貢献度ラン	ク:a]	
令和9年度			百万円	(4)事	業位置図等						
令和10年			百万円		N	P	735	THE STATE OF THE S	大穴口		
令和11年度 今和10年度			百万円			高畑谷村(停	新江 線 1 = 13	戸川橋 城の腰	Sg中野橋 L=51.7	V2	
令和12年原 令和13年原			百万円 百万円		•	川橋	W	TEL	W=8.5(2.5)	N. Contraction of the contractio	
令和14年			百万円			加畑	都留市駅	(A)	ター線		
令和15年			百万円		5	THE THE		お留市役所		ASSET AS	
13/10 10-10	× /3/3/24 0/ P/3 1/10	50	L/J J				谷村內	鍛治屋坂	横町。急	頂斜)	
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。						A662.0	VA //	上町	W=7.0(3.0)		
⑥既整備内容・期間・事業費					_	大月市場		St管野川橋	CALLER		







